

神奈川県精神神経科診療所協会
2024年7月役員会議事録

日時：2024年7月18日(木) 19時30分より

開催場所：ホテルプラム

出席者：赤塚英則、三木和平、萩元浩、鏑木宏、三村圭美、内門大丈、長谷川洋、赤坂ちづ子、上村誠、川名明德、川原健資、小堀真、佐藤嗣有子、根岸夏己、木代眞樹、瀬尾裕香、山田芳輝（敬称略、順不同）

I. 会長挨拶 診療報酬の改定から1ヶ月、いかがでしょうか。精神科外来診療の実情を発信していくことを考えなければと思います。

II. 前回議事録 承認

III. 議案

1. 入退会

退会：高岸敏晃先生(鶴沼メンタルクリニック)

小林博子先生(ひまわりメンタルクリニック)

2. 報告事項

(ア)日精診

診療報酬アンケートの途中集計、4047件の回答、早期診療体制充実加算の算定は11件(全体の2%)、廃止または要件緩和を求めている。児童思春期支援指導加算の算定は13%、心理支援加算は18.8%。新患の診察までの待機日数は当日診察の対応が19.7%、1週間以内の対応が24.9%、1ヶ月以内の対応が35.7%。6月の診療報酬が減額となった医療機関が90%。締め切りは7月末まで。厚労省への交渉に活用する予定。

新潟の地区協会が7月6日に第1回総会を開催。秋田の地区協会は解散となった。

(イ)神奈川県職員メンタルヘルス相談

7月は7件。4月から14医療機関の協力、15名が利用。

新規の協力医療機関の募集、案内を検討する。

(ウ)ホームページ、空床情報

イーজেイワークスとの契約は10月末まで。テクニカルプロデュースと9月2日に最終打合せ。事務局、萩元監事、山田理事、さいとうクリニック山口様、赤塚会長が出席。

(エ)レセプト請求

6月分の審査はこれから行う。現時点では改定の影響は不明。

(オ)PST株式会社臨床研究

17施設が参加協力。

赤塚英則(神奈川診療所)、斎藤庸男(さいとうクリニック)、三村圭美(東川島診療所)、内門大丈(メモリーケアクリニック湘南)、長谷川洋(長谷川診療所)、三木和平(三木メンタルクリニック)、鏑木宏(あおぞらクリニック)、川名明德(メイトクリニック鶴見)、上村誠(溝の口メンタルクリニック)、木代眞樹(きしろメンタルクリニック)、加藤大慈(戸塚西口りんどうクリニック)、小堀真(翠戸塚クリニック)、住吉秋次(住吉クリニック)、長田賢一(こころと痛みクリニック)、田中大輔(Dメンタルクリニック)、石垣達也(おまもりクリニッ

ク)、宮本浩司(高津心音メンタルクリニック)

(カ)公明党への「令和7年度予算要望」の提出

精神科診療報酬の改定(早期診療体制充実加算、指定医と非指定医の精神療法の算定点数)、介護保険点数について、赤塚会長、三村副会長で要望書をまとめて提出することに。

3. 協議事項

(ア)神精協合同講演会(7月30日)

会場:ホテルプラム

共催:田辺三菱製薬、ヤンセンファーマ

「遅発性ジスキネジア患者の声～患者ご家族からの手紙」

坂井喜郎先生(秦野厚生病院)

「遅発性ジスキネジアとその他の不随意運動の見分け方」

向井洋平先生(国立精神・神経医療研究センター 脳神経内科)

(イ)講演会・研究会

学術講演会 Web配信(8月29日) 共催:MSD

「不眠診療アップデート～健康づくりのための睡眠ガイド2023を踏まえて～」

吉池卓也先生(国立精神・神経医療研究センター)

学術講演会 ホテルプラム(9月10日) 共催:興和

「新薬登場でここまで変わった！認知症診療の新展開」

北薊久雄先生(川崎市立川崎病院)

第4回児童のこころと発達の研究會 10月3日

第4回老年期精神医学研究會 10月8日

産業メンタルヘルス研究會 10月26日

第38回精神科診療所デイケア研究會 2月15日

(ウ)会員名簿

8月中旬から広告依頼、11月頃に発行に。

(エ)協会誌

12月頃に広告依頼、3月頃に発行に。

(オ)60周年記念事業、60周年記念誌

式典、記念講演会は内門副会長、三村副会長を中心におこなっていく。

記念誌は長谷川副会長を中心におこなっていく。

(カ)神奈川県精神医療審査会

措置診察の書類審査が開始され2名の診断書で相違がある旨の指摘があったが、それぞれの医師の判断によるものであり相違はあっていいのではという意見が出た。

(キ)日常診療での意見交換

インチュニブの過量服薬で徐脈、血圧低下がみられたと報告があった。

議事録署名人

萩元 浩

鏑木 宏

赤塚 英則